

！こたまコラム (矢作新報社への寄稿内容)

明けましておめでとうございます。

輝かしい新年をお迎える事と、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年一年の世相を表す漢字は「金」でありましたが、その理由は金環日食をはじめとした天体ショーの当たり年であった事や、オリンピックや東京スカイツリーなどで我が国が金字塔を打ち建てた事など、良い意味での選定理由がある一方で、政治・経済分野での金にまつわる問題や事件が多発したからだそうであります。

平成 25 年は始まったばかりであります。今年の漢字は景気回復・被災地復興の「復」とか、一年を振り返って幸せな気持ちになれるような一字となるよう願うばかりであります。

また、昨年一年の振り返りで避けて通る事ができないのが衆議院議員選挙結果であります。豊田・みよし地域では現職の古本伸一郎氏が4選を果たしたものの、全国的には民主党は惨敗し、選挙前には台風の眼と目されていた第三極勢力も伸び悩み、自民党の圧勝で幕を閉じました。

選挙戦を通じての有権者の多くの皆様のご意見は、民主党がマニフェストを守れなかった事への批判と言うより、3年余の政権運営において、政策実行における党内批判や離党者が相次いだ事など、組織としての体を成していなかった事への怒りが勝っていたように感じます。

従って、今回の惨敗を契機に、民主党に籍を置く者の一人として、私自身も組織運営の未熟さを真摯に反省し、今後の政治活動に生かしていかなければならないと思います。

一方で、選挙戦を通じて皆様に訴えさせていただいた「社会保障と税の一体改革」や「経済対策」等、主要政策については、多くの皆様のご理解を得られたと自負しておりますが、国と同様に愛知県においても、少子高齢化による社会保障費の増加や景気低迷による産業空洞化は喫緊の課題であります。

社会保障制度については、国の今後の動向を見極める必要がありますが、高齢化とは医療技術の発達・向上によるものであり、必ずしも悪い訳ではありませんが、問題は少子化による人口減少であり、このままでは社会保障制度が破たんするのは火を見るよりも明らかであるため、更なる子育て支援の充実に取り組む必要があります。

また、豊田市をはじめとする西三河地域は、日本を牽引する自動車産業の一大集積地ですが、長引く超円高やデフレ等に加え、内需の縮小により非常に厳しい状況下にあり、経済対策は地域発展のためには欠かせぬ政策であります。

その為、自動車関係諸税の抜本的な見直しによる内需拡大を引き続き図ると共に、発展著しいアジアをはじめ、グローバル社会における外需の取り込みこそが日本復活の鍵であると考えます。

従って、政権交代により、国の方針が今後大きく変わる事が予想されますが、国の動向を注視しつつ、誰もが魅力を実感できる地域づくりを目指し、微力ながら頑張っている所存であります。

最後になりますが、昨年一年は皆様にとって厳しい一年であったと思いますが、本年は皆様にとって幸多き年となられる事を心よりご祈念申しあげ、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



愛知県議会議員

こたま よしかず

樹神 義和 